

第1回府中市都市・地域交通戦略（分倍河原駅周辺地区）推進協議会 会議録

■開催日時 令和3年5月10（月） 午前10時から午前10時45分まで

■開催場所 府中市役所北庁舎3階第1・2会議室

■出席委員等 13名（名簿順）

森本章倫委員、大門創委員、大櫛寛之委員、板垣友圭梨委員、高橋栄二委員、
徳差宣委員、堀木智浩委員、榎本聡委員、藤井一郎委員、早田俊介委員、
小池毅委員、芝寄一郎委員、野口勉委員

■欠席委員 1名

酒井浩一委員

■事務局 13名

松村都市整備部長、高橋都市整備部次長兼計画課長、古田地域安全対策課長、塩澤
道路課長、伊藤道路課道路企画担当主幹、日原地区整備課長、酒井地区整備課長補
佐、吉野地区整備課拠点整備担当主査、川村地区整備課事業調整担当主査、賀戸地
区整備課鉄道計画担当主査、増田地区整備課主任、関地区整備課事務職員、中島地
区整備課事務職員

■傍聴者 なし

■議事次第

1 開会

2 市長あいさつ

3 委員紹介

4 事務局紹介

5 会長及び副会長の選出

6 諮問事項

7 議題

(1) 分倍河原駅周辺まちづくりの方向性について

(2) 都市・地域交通戦略の施策の進捗状況について

(3) 都市・地域交通戦略推進協議会のスケジュールについて

(4) 駅前空間の整備イメージについて

8 その他

■会議概要

1 開会

【事務局】 定刻になりましたので、開会に先立ちまして、お知らせいたします。現在、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が発出されており、本協議会においても、感染拡大防止の観点から時間短縮に努めてまいりますので、ご理解頂きますようお願いいたします。

それでは、委嘱状の伝達につきましてご報告いたします。本来ならば、市長から委員の皆様一人ひとりに、お渡しするところですが、時間の関係もありますので、皆様のお手元に委嘱状を置かせて頂いております。これをもって委嘱状の伝達に代えさせていただきます。

それでは、ただいまから、第1回府中市都市・地域交通戦略（分倍河原駅周辺地区）推進協議会を開会させていただきます。会長が選出されておられませんので、会長が決まるまでの間、事務局で進行役を務めさせていただきます。どうぞよろしくようお願いいたします。

それでは、事前にお配りした次第に従いまして進めさせていただきます。次第「2 市長あいさつ」です。

2 市長あいさつ

【市長】 皆様、おはようございます。このたびは、府中市都市・地域交通戦略推進協議会委員への就任をご依頼しましたところ、快くお引き受け頂きまして、また、本日はこのような時節柄ご出席を賜り、誠にありがとうございます。委員の皆様におかれましては、日ごろより市政の各般にわたりご理解とご協力を頂いておりますことに、この場をお借りしまして、重ねて御礼申し上げます。

さて、分倍河原駅周辺のまちづくりについてですが、本市の第6次総合計画において重点プロジェクトに位置付け、これまでも関係各所のご協力を頂きながら、事業化に向けた検討を進めてまいりました。これに伴い、昨年7月にはまちづくりの全体像を示した「まちづくり基本計画」を策定し、本年3月には駅改良の実現に向けて、鉄道事業者様と事業範囲などを定めた覚書を結ぶことができました。今年度からは、平成30年に策定しました都市・地域交通戦略の更なる推進を図るため、本協議会を設置いたしまして、委員の皆様よりご指導・ご審議を賜りたいと考えておりますので、どうぞよろしくようお願い申し上げます。

結びに、委員皆様の一層のご健勝とご活躍を心より祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

3 委員紹介

【事務局】 続きまして、次第「3 委員紹介」です。本来ならば、本協議会の第1回目の会議ですので、皆様から自己紹介を頂くところですが、時間短縮のため、参考資料4として配付しております「委員名簿」に代えさせていただきます。

（委員の出席状況の報告、定足数に達していることの確認）

4 事務局紹介

【事務局】 続きまして、次第「4 事務局紹介」に移ります。事務局の職員につきましても、お手元の席次表に代えさせていただきます。

(会議中の録音・写真撮影及び委託業者の同席の報告)

5 会長及び副会長の選出

【事務局】 続きまして、次第5「会長及び副会長の選出について」です。会長及び副会長につきましても、府中市都市・地域交通戦略（分倍河原駅周辺地区）推進協議会規則第3条第1項の規定により「委員の互選により」定めることとなっております。委員の皆様、いかがでしょうか。

【委員】 事務局の考えがあれば、ご提案頂けますか。

【事務局】 ただいま委員より事務局の考えとのご発言がありましたので、事務局よりご提案させていただきます。会長につきましては、都市・地域交通戦略を策定する際の協議会において、会長としてご尽力頂きました早稲田大学理工学術院教授の森本委員に、副会長につきましては、都市計画や交通計画を専門とされている國學院大学研究開発推進機構准教授の大門委員にそれぞれお願いしたいと考えておりますが、委員の皆様いかがでしょうか。

(拍手)

【事務局】 ご異議がないようでございますので、森本委員に会長を、大門委員に会長をお願いしたいと存じます。森本委員は、会長席に移動をお願いいたします。

(席の移動)

【事務局】 会長、副会長よりご挨拶を頂きたく存じます。

【会長】 先ほど事務局からご紹介がありましたが、府中市都市・地域交通戦略の策定をお手伝いし、都市計画マスタープラン及び立地適正化計画についてもお手伝いしたということで、この席に座っていると私自身は思っています。

ご存知のように2020年から新型コロナの流行で世界中大変な状態になっております。都市計画や交通計画の分野でも変革期を迎えていると言われております。海外では新型コロナに対応するまちづくりということで、パリでは本格的に、15分都市圏として、15分の中に生活に必要な施設をできるだけ集約をさせると舵を切っていますし、日本では、東京都市圏の協議会の中で、様々なデータ分析の結果、生活圏というのは非常に重要であるので、もう一度生活圏を見直して、生活圏の中で一定の生活ができるような都市構造に切り替えるべきだということ今年3月のレポートで取りまとめをさせていただきました。

そういった中で、府中の都市・地域交通戦略を考えると、分倍河原駅

周辺は一つの大きな鍵になると思っています。微力ではございますが、皆さんの知見をお借りしながら、この会議の進行を務めさせて頂きたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

【副会長】 分倍河原駅は府中市の中でも最大の乗降客数で、首都圏の鉄道ネットワーク全体からみても非常に重要な位置づけであると思っています。平成30年に都市・地域交通戦略が策定されており、それをいかに推進していくかということが、この会議に求められていると思います。ただ、この3年の間に新型コロナが発生したということもあって、先ほど会長がおっしゃったように、これからどのように交通結節点のあり方を考えていくのか、ということが問われており、そのようなことについても皆さまと一緒に議論していきたいと思っています。微力ながら副会長を仰せつかっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【事務局】 ありがとうございます。府中市都市・地域交通戦略（分倍河原駅周辺地区）推進協議会規則第4条に、「会長が議長となる」と規定されておりますので、ただいま、会長に選任されました森本会長に、議事の進行をよろしくお願いいたします。

6 諮問事項

【会 長】 次第6「諮問事項について」事務局よりお願いします。

【事務局】 それでは、市長から森本会長に諮問文を伝達させていただきます。

（高野市長から森本会長に諮問文を伝達）

ただいま、高野市長から諮問文を受け取りましたので、委員の皆様にと事務局から写しを配付します。

（各委員に諮問文の写しを配付）

お手元に配付しました諮問文を読み上げさせていただきます。

次の事項について、府中市都市・地域交通戦略（分倍河原駅周辺地区）推進協議会において審議し、答申してください。

諮問事項、府中市都市・地域交通戦略（分倍河原駅周辺地区）に掲げる施策の進行管理及び評価・見直しに関すること。

答申期限、令和5年3月31日。

以上です。なお、市長は、公務のためここで退席をさせていただきますので、ご了承ください。

（市長退席）

【会 長】 ここで議題に入る前に、本日が初回の会議となりますので、府中市都市・地域交通戦略（分倍河原駅周辺地区）推進協議会規則第6条において「協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定めるとされておりますので、会議の公開に関する取扱いについてお諮りいたし

ます。それでは、事務局より説明をお願いします。

【事務局】 お手元にございます、当日資料1「府中市都市・地域交通戦略（分倍河原駅周辺地区）推進協議会の会議の公開等について（案）」をご覧ください。

本会議は、府中市情報公開条例第32条第1項により原則公開するものとされていますので、公開とさせていただきます。

また、傍聴希望者につきましては、当日資料2「府中市都市・地域交通戦略（分倍河原駅周辺地区）推進協議会の傍聴について」をご確認いただき、指定された場所で傍聴することとします。

時間の都合により、その他の説明につきましては、割愛させていただきます。

【会 長】 ご質問やご意見はございませんでしょうか。

（発言なし）

【会 長】 それでは、ないようですので、本件は、事務局からの説明のとおり決することで異議はないでしょうか。

（「異議なし」との声あり）

【会 長】 はい、ありがとうございます。では、本日の協議会の傍聴希望者について、事務局より報告をお願いします。

【事務局】 本日の会議につきましては、4月21日号「広報ふちゅう」にて告知しましたが、傍聴希望者はおりませんでした。

7 議題

【会 長】 続きまして、次第「7議題」に移らせて頂きます。進め方としましては、（1）から（4）まで事務局から一括して説明し、その後に意見交換に移らせて頂きます。それでは、事務局から説明をお願いします。

【事務局】（各議題について、資料1～5に基づき事務局より説明）

【会 長】 ありがとうございます。それでは、これより各委員の皆様からご意見を頂きたいと思えます。それではいかがでしょうか。

【委 員】 分倍河原駅周辺地区の交通戦略ということで、平成30年に一定の方向性が示されている中で、今回、このような方向性の中の図面をお示し頂いたと認識しています。

個人的には、まちづくりと一緒に進めていければ良かったと思っているとあります。皆さんご存知だと思うのですが、分倍河原駅は南武線と京王線が結節しているため、非常に利用される方が多いという中で、若干駅にアクセスする道路が華奢であるところが、この地区の特徴だと、思っています。

そうした中で、都市計画道路の計画もあるうえで、交通結節点に鉄道の結節をきちんと作るのの一つなのでしょうが、バスやタクシーとの結節機能も非常に重要になります。そうした意味で、駅にアクセスする方が、バス・タクシーで渋滞することが無いようにするのが一番望ましいと思っており、今後、周辺の交通渋滞の解消と、歩行者空間の確保という、道路の視点から意見をさせて頂ければと思っています。

【会長】 適切なお指摘ありがとうございます。元々、交通戦略を検討する時、北側と南側の役割を分担しようというコンセプトで、北側の方は歩行者に優しいまちづくり、南側の方はタクシーやバスを含めた交通アクセス機能の向上ということで、全体的な役割を議論してきました。頂いたご意見を参考にしながら今後進めていきたいと思っています。

昨今、国では、本日の資料1の右の方に書いてありますように、駅まち空間という駅の空間と駅前広場、その周辺の隣接するエリアも含めて一体としたまちづくりが必要だという議論をさせて頂いています。

分倍河原駅周辺はまさしく、こういったコンセプトの中で、駅と駅前広場だけではなく周辺も含めた一体的なまちづくりの観点で、議論できないかということが一点あります。

もう一つは、自動運転という技術も我々の社会の中に浸透しつつあって、実際に自動運転のレベル3の車は今年販売されています。政府のスケジュールでは、今後5年くらいで大きく動きが見えると思っていますので、是非これからこのような場所で新しいまちづくりをする上で、新しい技術、例えば自動運転、IoT、AI、サイバー空間の活用などの新しい視点を加えながら皆さんと議論できれば、と思っています。事業が完成するときには、日本の中での先進事例として、皆さんに使って頂けるようなものにしたいと思っています。

【委員】 ご紹介頂いた、ウォークブルと駅まち空間という新しい取り組みについて早速取り上げて頂きましてありがとうございます。

駅まち空間については、大きなターミナル駅などが注目されがちですが、コンパクトな交通結節点で、どういう形になっていくのか非常に楽しみに思っています。

一点、意見ですが、資料5でそれぞれの整備内容について書いて頂いていますが、特に駅前の溜まり空間について「にぎわいや集いを創出する」しか記載されていないので、どういった利用をしていくのか、周辺の民間側の土地も含めてどのような空間になっていくのか具体的にイメージできるようになると、しっかり使われるものになっていくと思います。このあたりも含めて具体化していくと良いと思っています。

【会長】 ありがとうございます。おっしゃる通り、そのような形で市民も地域住民も巻き込みながら、皆さんで進めていければと思います。他にいかがでしょうか。

【委員】 資料5の駅前空間の整備イメージは、プログラムのステップ2ではありますが、今後の20年、30年を左右するような重要な大型なインフラ整備も伴うのではないかと考えています。

先ほどからお話にあるように、駅まち空間として周辺と一体的に整備していく中で、分倍河原駅は京王線とJRの結節点で、乗り換えに特化している部分が大いといっています。そういった人々がまちの方に滲み出ていく仕掛けづくりも、この駅まち空間においては重要だと思っています。

コロナ渦で、定期利用が減少する中、定期外利用の存在が重要になってきます。その方々を取り込むため、駅まち空間の魅力自体を上げていくことにより、鉄道事業者にとっても分倍河原周辺の地域にとっても、ウィンウィンの関係になることと思います。是非そのあたりの仕掛けづくりなども加味しながら進めていきたいと思っています。

【会 長】 ありがとうございます。コロナによる影響で公共交通は大変厳しい状況に置かれており、2割くらい戻らないのではないかとされていますが、是非ポストコロナを目指した、人と環境にやさしいまちづくりを進めていければと思います。他にいかがでしょうか。

それでは特にございませんので、議題については以上になります。

8 その他

【事務局】 (事務連絡)

【会 長】 事務局の説明について、ご質問はございませんでしょうか。あるいは全体として他にご意見はございませんでしょうか。

それでは、以上を持ちまして、本日の府中市都市・地域交通戦略（分倍河原駅周辺地区）推進協議会を閉会とさせていただきます。

以 上